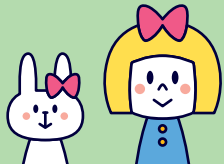


親介護一時金支払特約 **親介護**

親の介護はある日突然はじまります!

要介護・要支援の認定者数は毎年増え続け、令和3年度末で約690万人となっています。

(出典:令和3年度介護保険事業状況報告)

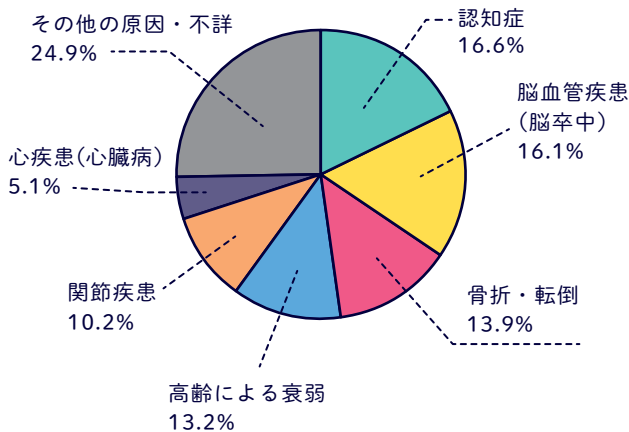


このように、要介護状態は突然はじまります。
要介護になる原因やリスクについて、データを見ながら考えてみましょう。

■ 要介護になる原因は?

第1位は「認知症」です。脳血管疾患、骨折・転倒、関節疾患などで、介護が必要な高齢者も増えています。

介護が必要になった原因

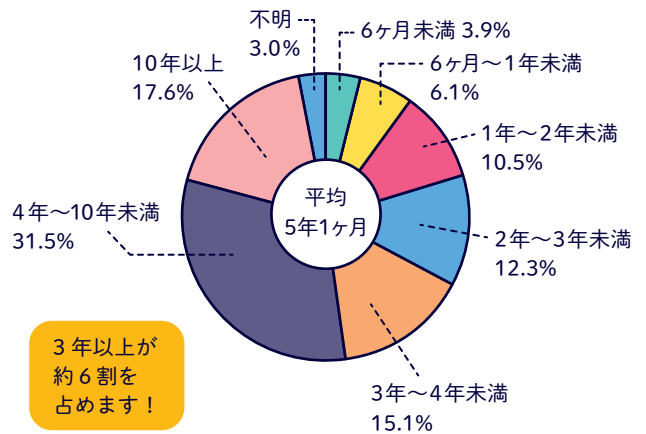


厚生労働省「国民生活基礎調査」/2022年から作成

■ 介護はいつまで続く?

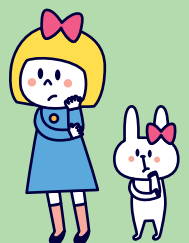
介護期間が長期にわたると、経済的な負担も重くのしかかってきます。

介護期間の割合



生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」/令和3年度から作成

さまざまな原因があることがわかりました。介護期間が長期にわたる場合もあります。それでは、費用はどれくらいかかるのでしょうか。裏面で介護費用の平均をあげていますので、参考にしてみてください。




■ 介護費用はいくらぐらい必要？

介護にかかる費用の平均

介護に要した費用（公的介護保険サービスの自己負担費用を含む）は、住宅改造や介護用ベッドの購入などの一時費用の合計が平均 **74万円**、月々の費用が平均 **8.3万円** となっています。

在宅介護の例（要介護3、1割負担のAさんの場合）

2023年10月現在



訪問看護／医療的管理
(1時間未満・月5回)

41,050円



訪問介護／身体介助
(1時間未満・月14回)

50,290円



デイケア(7時間未満・月13回)
通所リハビリステーション

131,820円



その他
・ショートステイ(月4回)
・福祉用具貸与

62,720円

※上記以外にデイケアの食費(550円×13回)とショートステイの滞在費・食費(2,500円×4日)が介護保険対象外の費用として発生します。

介護にかかった費用の合計

285,880円*/月

要介護度別の支給限度額(要介護3 270,480円)

Aさんの毎月の自己負担額

(自己負担1割) + (支給限度額超過分) + (介護保険対象外) = **59,598円**

27,048円 + 15,400円 + 17,150円

生命保険文化センター「リスクに備えるための生活設計～実際にかかる介護費用はどれくらい?～」/2023年10月現在

親介護一時金支払特約 親介護 の特徴は？

POINT
1

要介護状態*が

親介護一時金額の全額を一時金としてこの特約の被保険者（親御さま）にお支払いします。

※要介護状態とは、次のいずれかに該当する状態をいいます。

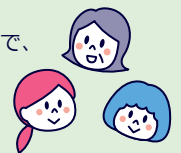
- 公的介護保険制度に基づく要介護 以上の認定を受けた状態
- 上記以外で特約記載の所定の状態に該当した場合



POINT
2

親御さまは、**この特約（オプション）のみにご加入いただくことが可能**です。

- この特約の被保険者（補償の対象者）となれる方は、基本補償の被保険者の親御さま（姻族を含みます。）で、最大2名までとなります。
- 親御さまの基本補償部分へのご加入、同居の有無は問いません。（基本補償の被保険者ご本人に代理でご署名いただけます。）



POINT
3

親御さまは、**満 才まで**ご加入いただけます。

- 健康状態に関する質問にご回答いただくだけで、医師の診査等は不要です。（親御さまの健康状況によりご加入できない場合があります。）



加入例

介護一時金額

(年齢* 才 ~ 才の場合、1名あたり)

※保険始期日時点の親御さまの満年齢



「介護のリスク」について動画でチェック!

QRコード*を携帯電話で読み込み、アクセスしてください。(通信料がかかります。)
※「QRコード」は(株)デンソーウェブの登録商標です。

※ご不明な点につきましては、以下までお問い合わせください。 ※このチラシは保険の特徴を説明したものです。詳細はパンフレットをご覧ください。

代理店・扱者:

引受保険会社: